

<イベントについて>  
 \*講堂で行うイベントは、基本的に定員200名(先着順)です。\***要申込**の表記がないイベントは申込不要です。\***有料**(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。\***要申込**のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合は翌開催日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。\*「みんな」は、博物館の活動を応援して下さる皆さんと一緒に、協力してつくりあげる「みんなで作るイベント」を指します。

キッズ・ファミリー向けイベント

- こどもミニミニはくぶつかん ～ものづくりとICTで遊ぼう～**  
 1/27(土)10:30～15:30 なんだべや  
 ※会津大学の学生さんがものづくりとゲームを用意して待っています!【2/3・2/4の予定から変更となりました】
- 親子で探検!博物館のウラ側** **要申込** 定員15名(小学生を含む親子)  
 2/4(日)13:30～14:30 実習室集合  
 ※けんぱくのウラ側(バックヤード)をお見せします!

見たい!知りたい!楽しみたい! 多彩なイベント

- 美術講座** 美術放談第4回「自然の表象(イメージ)」  
 1/13(土)13:30～15:00 講堂 小林めぐみ、塚本麻衣子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)  
 ※四季折々に姿を変える日本の自然。日本美術の中で自然はどのように描かれてきたのでしょうか。美術を愛する3人がそれぞれの専門の視点で語ります。
- 保存科学講座** 木造建造物の保存について学ぼう!  
 1/20(土)13:30～14:30 実習室 杉崎佐保恵(当館学芸員)  
 ※1月26日は文化財防災デー。世界最古の木造建造物でもある法隆寺の保存についてお話します。
- 博物館講座** 三の丸から講座特別講演会「会津鶴ヶ城に刻まれた時代の移り変わり」  
 1/21(日)13:30～15:00  
 講堂 齋藤慎一さん(公益財団法人東京都歴史文化財団 江戸東京博物館分館 江戸東京たてもの園)  
 ※中世の黒川城から近世の若松城へ。鶴ヶ城の移り変わりについてご講演いただきます。
- 歴史講座** はじめてさんの古文書講座 ①・② **要申込** 定員35名(2回とも参加可能な方が対象)  
 ①2/3(土)・②2/12(月・祝)13:30～15:00 実習室 栗原祐斗(当館学芸員)  
 ※辞書の引き方から始める初心者向け講座。冬はじっくり古文書に挑戦してみませんか。
- 特別講座** 詩人のいる博物館 ③  
 2/17(土)13:30～15:30 和合亮一さん(詩人)・佐藤厚志さん(小説家)  
 講堂 申込不要・定員200名【オンライン】 **要申込** 定員100名  
 ※2023年に「荒地の家族」で芥川賞を受賞した佐藤厚志さんの福島県での初講演です。
- 民俗講座** 集まれ彼岸獅子! シシのお面をつくらう! **要申込** 定員15名  
 2/24(土)10:30～12:00 なんだべや 山口拓ほか(当館学芸員)  
 ※子どもたちにも民俗行事を知ってもらうためのイベントです。春を告げる彼岸獅子。その形や意味を知って、オリジナルのシシのお面を作りましょう。
- 美術講座** 美術放談第5回「託した思い」  
 2/24(土)13:30～15:00 講堂 小林めぐみ、塚本麻衣子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)  
 ※物にはそれを守り伝えてきた人々の思いが重ねられています。美術に思いを託した人々について考えます。
- みんな** 会津の彼岸獅子  
 3/3(日)13:30～15:00 講堂 本滝沢獅子舞保存会の皆さん  
 ※一足お先に会津の春をプレゼント!
- 歴史講座** かじったさんの古文書講座 ① 「会津藩の家世実紀を読んでみよう」  
 3/9(土)13:30～15:00 講堂 高橋充(当館副館長)  
 ※中級者向けの講座ですが、初心者の方もお気軽にご参加ください。
- 美術講座** 未来の記憶のために  
 3/10(日)13:30～15:00 なんだべや 港千尋(写真家・著述家・多摩美術大学教授)  
 ※地域に生きるひとりひとりの物語で出来ている「いいいたてミュージアム」。ミュージアムの機能や地域の記憶について、「いいいたてミュージアム」の発案者でもある港千尋さんにお聞きします。
- 民俗講座** テーマ展「手仕事が生む花ーふくしまの彼岸花ー」解説会  
 3/16(土)11:00～11:30 講堂 大里正樹ほか(当館学芸員)  
 ※春を待ちわびる北国の人の心に迫ります!
- 歴史講座** かじったさんの古文書講座 ② 「会津の三十三観音札記を読んでみよう」  
 3/16(土)13:30～15:00 講堂 高橋充(当館副館長)  
 ※中級者向けの講座ですが、初心者の方もお気軽にご参加ください。
- 考古学講座** 勾玉・ガラス玉をつくらう **要申込** 定員15名 **有料** 300円  
 3/17(日)10:00～15:00 実習室 平澤慎(当館学芸員)  
 ※古代のアクセサリーづくりに挑戦!

三の丸からプロジェクト 体験型プログラム

- 全て要申込ですが、定員に達していない場合は開催前日まで電話で受け付けます。受付状況については、直接お問い合わせください。
- ものづくり文化体験「錫粉蒔絵に挑戦! ～ミニトレーまたは盃の絵付け体験～」**  
**要申込** 定員16名 **有料** 4,000円  
 1/28(日)13:30～15:30 なんだべや  
 蒔絵師 八木由紀子さん・佐藤淳さん  
 ※錫(すず)をまく本格的な蒔絵を優しく教えてもらえるよ!
- ものづくり文化体験「ヒゴからつくるコースターづくり ～またたび細工～」**  
**要申込** 各回定員10名 **有料** 2,500円  
 2/11(日)①10:00～12:30、②13:30～16:00 なんだべや  
 編み組細工職人 菅家豊さん  
 ※ヒゴから作るまたたび細工体験にトライ!

2024年1月・2月・3月 イベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
1月	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	
2月	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31		
3月	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	

休館日 ■ イベント開催日 ■



表紙の写真「雪国ものづくり広場 なんだべや」

博物館の開館以来「体験学習室」として親しまれてきた部屋が、「雪国ものづくり広場 なんだべや」としてリニューアル。会津のものづくりのエッセンスがちりばめられ、体験講座などを通じて、ものづくり文化を感じて楽しむ場所となりました。また、絵本や少し昔のおもちゃもご用意してあります。天気をきせず、寒い冬もぜひご利用ください。



**観覧料**  
 ■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円)  
 ■特集展「古い道具と昔のくらしー今の生活と比べてみようー」は、常設展観覧料でご覧いただけます。  
 \*高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。  
 ■年間パスポート 2,000円  
 購入日から1年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。  
 ■施設共通券(当館常設展・鶴ヶ城・茶室隣間) 一般・大学生630円



**福島県立博物館**  
 Fukushima Museum  
 開館時間9:30～17:00(最終入館は16:30まで)  
 お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986  
 〒965-0807 会津若松市城東町1-25  
 HP <https://general-museum.fcs.ed.jp> E-mail [general-museum@fcs.ed.jp](mailto:general-museum@fcs.ed.jp)

なじよなVol.18 1～3月号 2023年12月20日発行 発行/福島県立博物館



雪国ものづくり広場 なんだべや

会期:1月13日(土)~3月17日(日)

会場:収蔵資料展示室(常設展内)

観覧料:一般・大学生280円(220円)、高校生以下無料

( )内は20名以上の団体料金 \*常設展料金でご覧いただけます。

博物館には少し昔のくらしで使われていた様々な道具が収蔵されています。

でも、「古い道具」は昔のことを知ったり、懐かしんだりするためのものではありません。

今の道具やくらしと比べることで、私たちが抱える課題や問題を

明らかにしてくれるものでもあるんです。今回の展示では、色々な「問い」も考えています。

古い道具と昔のくらしをヒントに、今のくらしを見つめ直してみませんか。

特集展

# 古い道具と昔のくらし

## — 今の生活と比べてみよう —



「通い徳利」と「ペットボトル」

「通い徳利」はお酒や醤油を購入するために使ったもの。今でいうマイボトルです。現在のようにペットボトルを大量消費するくらしは環境負荷が高いといわれています。通い徳利のように容器を持参するくらしは、今こそ必要とされているかもしれません。とはいえ、陶器の容器は輸送には不向き。それぞれの道具のよい点、よくない点を考えてみるのが重要なんだと思います。

どっちが便利?

氷で冷やす冷蔵庫

今の冷蔵庫では当たり前に行えることができません。そのあることは何でしょう?



お米を炊くのに

実はお米を炊く以外の使い方があったんです。何に使ったのでしょうか?

使っていた羽釜



これらの答えは、ぜひ展示会場でご確認ください!

他にも...

テーマ展

会期:2024年1月30日(火)~3月31日(日)

場所:展示ロビー

福島県内各地でも、年2回おとずれの春と秋のお彼岸は、夏のお盆と同じ先祖供養の大事な時期でした。冬の寒さが厳しい東北地方では、とくに春のお彼岸の時期には生花を手に入れることはむずかしく、お墓や仏壇に供えるために、造花の「彼岸花」が手仕事で多く作られてきました。現在でも、地域のスーパーマーケットや農産物直売所には、春の彼岸前になるとそうした多くの彼岸花が並びます。

やわらかい木を「削りかけ」の技法で花の形にするもの、色紙を何層にも重ねて菊の花の形にするもの、経木のような薄い板を反らせて花の形にするもの、地域によって材料も作り方も異なりながら、いずれも見事な花を咲かせています。展示室に咲き誇る「手仕事が生む花」をお楽しみください。

## — ふくしまの彼岸花 —



## 手仕事が生む花

けんぱく・中のごと

【学芸員】渡邊 歩さん



ポイント展「若松が大変! 城下町と災害」の前で

今回のけんぱく・中のごとに登場するのは、今年度からけんぱくに仲間入りした歴史分野学芸員の渡邊歩さんです。近世史を専門に、複数の村を軸とした歴史をまとめる御頭とよはれる地方役人とその制度について研究をすすめてきました。けんぱくは、やってくる約1年ごとの1年を振り返りつつ、お話を伺いました。

Q1 渡邊さんは県内のご出身でしたよね。けんぱくについて、子どもの頃の思い出はありますか?

郡山市の出身です。でも、学校の課外授業で来たくらいでしょうか。あまり記憶にも残っていないんです…。むしろ、大学生になって歴史を本格的に学ぶようになってから訪れるようになりましたね。「わあ、すごい」と圧倒されたのが第一印象です。

Q2 歴史は昔から好きでしたか?

そうですね。「銀魂」というマンガがきっかけで(笑)。でも社会の成績が特別よかったわけでもないんです。歴史を学ぶ楽しさは、学校の成績とはまた別ですね。

Q3 学芸員という仕事を目指したのはいつからですか?

大学3年生か4年生の時でしょうか。大学のゼミ旅行で東京の国立公文書館へ行ったんです。元々は教員志望だったんですけど、古文書に関わる仕事に魅力を感じて学芸員を目指すようになりました。

Q4 実際にけんぱくの学芸員になってみていかがですか?

やはり最初は緊張しました! 同僚の皆さんからも専門家としてのオーラを感じましたね。でも温かく迎えていただき、徐々に馴染んでいくことができました。毎日忙しくて大変ですが、皆さんに助けていただいています。

Q5 忙しい毎日の息抜きはありますか?

休日の息抜きはカフェめぐりや神社めぐりでしょうか。最近は伊佐須美神社がお気に入りです。

Q6 印象に残っていることは何でしょうか?

初めてのポイント展「若松が大変! 城下町と災害」ですね(※詳しくはなじな17号でご紹介)。資料の探し方、展示の組み立て方…。モノを展示するというのが初めてだったので苦労しましたが、やりがいもありました。これからも自分の引き出しを広げて、おもしろい展示ができるようにがんばりたいです。

Q7 最後にけんぱくのアピールをお願いします

私だけではなく、他の学芸員もポイント展という小展示を積極的に開催しています。だから常設展示室も常に変化があって、来るたびに発見があると思います。先日お会いした学校の先生が同じことをおっしゃって下さって、嬉しかったです。皆さんにもぜひお伝えしたいですね。

ポイント展

## いいいたてミュージアム

会期/2月3日(土)~3月31日(日)

会場/エントランスホール 観覧無料

東日本大震災後に飯館村を支援してきた「いいいたてまでの会」のプロジェクトの一つ「いいいたてミュージアム」は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、一時、全村避難を強いられた飯館村の村民から丁寧にお話をうかがい、その方々の暮らしにまつわるモノを収集し、飯館村の暮らしそのものの記憶を留めようとしたプロジェクトです。モノに優劣をつけない収集方法、聞き取ったエピソードの重視、コンパクトな展示はミュージアムのあり方の一つの指針となるものでした。いいいたてまでの会の活動休止にとまぬ福島県立博物館に寄贈された「いいいたてミュージアム」。何気ないモノたちが語るたくさんの小さな物語に出会いに来てください。

## 鉄滓

例えばこんな物語が...

鉄滓(いいいたてまでの会寄贈・当館蔵) 佐藤俊雄さん

佐藤さんが村の中で拾った製鉄かす。飯館村で行われていた中世の製鉄の名残です。八木沢峠で拾ったそうです。小さいころから土器の破片を見つけたりするのが好きだった佐藤さん。佐藤さんにとっては村全体が研究室のようです。書斎にはたくさんの宝物が大事に保管されています。



## みんなおいでよ! 「こどもミニミニはくぶつかん」

博物館では毎年、ゴールデンウィークとお盆の時期に「こどもミニミニはくぶつかん」を開催してきました。昨年度からは、冬も室内遊び、雪遊びの機会となるように実施しています。今年の冬のミニミニは、1月27日(土)です。会津大学コンピュータ理工学部課外プロジェクト「地域イベントと観光サポートプロジェクト」受講生の学生さんと会津大学短期大学部幼児教育・福祉学科の学生さんが、ものづくりやゲームを用意してお待ちしています。

キッズ・ファミリー向けイベント

昨年度は、博物館の展示に合わせ学生さんが作成したオリジナルゲーム「こけしの絵付け体験ゲーム」や「化石発掘ゲーム」、そして「読み聞かせ」や会津産木材の廃材を使ったものづくりなどの「ワークショップ」で楽しませてくれました。

「こどもミニミニはくぶつかん」は、子どもたちに博物館や会津のものづくりに興味を持っていただきたいという思いが詰まった企画です。1月の「こどもミニミニはくぶつかん」を楽しみにしています。

実施日:1月27日(土)10:30~15:30

申込不要 随時受付 参加費無料

\*2/3・4の実施予定が1/27に変更となりました



\*写真はイメージです、実際の内容とは異なりますのでご了承ください。